

1 研修期間中の評価は形成的評価をもって行うことが重要であり、各研修
2 医の研修内容を改善することを主な目的とする。

3 各研修医及び指導医は「臨床研修の到達目標」に記載され
4 た個々の項目について、研修医が実際にどの程度履修したか
5 随時記録を行う必要がある。

6 研修の進捗状況の記録については、研修医手帳を利用する
7 ほか、インターネットを用いた評価システムなどの活用も考
8 えられる。

9 指導医等は定期的に、さらに必要に応じて随時研修の進捗
10 状況の把握・評価を行い、各研修医が修了基準に不足してい
11 る部分を研修できるよう配慮すると共に、評価結果を研修医
12 にも知らせ、研修医、指導スタッフ間で評価を共有し、より
13 効果的な研修へとつなげるべきである。

14 15 4 - 2. 研修期間終了時の評価 ~~（総括的評価）~~

16
17 研修期間終了時の評価は総括的評価をもって行い、各研修医の臨床研修
18 修了の判断を行うことをその目的とする。

19 研修医の研修期間の終了に際し、プログラム責任者は、研
20 修管理委員会に対して研修医ごとの臨床研修の目標の達成状
21 況を報告する。その報告に基づき、研修管理委員会は研修の
22 修了認定の可否についての評価を行う。

23 評価は、研修実施期間の評価及び臨床研修の到達目標の達
24 成度の評価（経験目標等の達成度の評価、臨床医としての適
25 性の評価）に分けて行われ、両者の基準が満たされた時に修了と認め
26 るべきである。

27 28 29 30 5 臨床研修の修了基準